

# 学校だより

## ICT活用のひろがり

いつのまにか秋本番となりました。小・中学部の修学旅行・高等部の現場実習と前半の大きな行事も無事こなし、いよいよ後半の授業に取り組もうとしています。さて、学校だより第2号では、各学級の通信ではなかなかお伝えしていない領域の内容として、ICTの活用状況について特集します。なかでもiPadなどのタブレット端末の普及はめざましく、本校の子どもたちも興味関心は高く、利用範囲をどんどん広がりつつあります。

### 1 小学部



小学部では学習のいろいろな場面でタブレット端末を活用しています。平仮名や数字の書き順を覚えるアプリでは、単純な線をなぞるものもあれば、線路や道路をなぞるとその後から電車や車が動いてついてくるものもあり、それぞれの興味関心に合った段階の教材を選ぶことができます。状況に合わせて音も変化するため、子どもたちも引き込まれながら学習を進めています。また、校外学習の事前学習では、画面に出てくる昼食メニューを指で上下に

動かしながら、自分の食べたいものを選ぶといった活動にも活用しています。一見すると難しそうな操作も、子どもたちは大人が考えている以上にあっさりと使いこなしている場面も多くあり、これからも活用場面がどんどんと広がっていく可能性を感じています。

### 2 中学部

中学部では、2学期から多目的室に52インチのテレビを取り付け、学習に活用しています。中3が行った修学旅行の事前学習では、スライドショーやiPadの画面を大きな画面に映し出すことで、全員が前を向いて授業に臨むことができました。その他にもビデオ教材の視聴、行事の振り返り活動など様々な活動で、生徒が興味をもって学習内容に注目することに役立っています。



### 3 訪問部

家庭での学習が中心の訪問教育では、iPad活用によってより豊かでダイナミックな社会体験ができるよう工夫しています。テレビ電話で友だちとのグループ学習を実現。VOCA (Voice Output Communication Aid) に発声を助けてもらえば、溢れ出てくる思いをみんなに伝えることができます。プロジェクションマッピングで宇宙旅行にも行きました。アクセシビリティの機能で、教科書や大好きなコナンのマンガも、自分でページをめくって自由に読めます。「自分でできる」を実感できた時のみんなの笑顔はサイコー！です。



### 4 高等部



高等部の園芸班では、販売学習の場面でiPadのレジアプリを使用しています。実物の商品の写真を撮り、その写真を使って商品表示が作れます。また、その商品表示を押さえることで売り上げの合計を計算してくれるとともに、預かった金額からのおつりの計算も支援してくれます。このことは、生徒がお客様とのやりとりに気持ちを集中することに役立っており、「この野菜のおすすめの料理法はなんですか？」などの質問にも余裕を持って対応ができていました。

### 5 その他

各学部のICTの活用状況は、いかがでしたか。タブレット端末は、遊びだけでなく、便利な道具として子どもたちの生活に浸透してきています。タブレット端末は、インターネットやゲーム利用など長時間の遊び相手になってしまうという危険性も十分認識しながらも、使い方次第で子どもたちにとって、自信をもって主体的な日常生活を送るための有力な道具となってきたことは確かです。保護者の皆さんと情報交換しながら、使い道を広げていきたいと考えています。